



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	松尾 絵梨子		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1209	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 3 - G 〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4 - F 〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4 - I 〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5 - J 〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 D P 8 - M 〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（20%） G 1 状況把握（30%） I 2 量的分析（20%） I 3 情報分析（20%） J 2 創造的思考（5%） M 1 統合的・応用的学修（5%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード： 研究、省察、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践		

	■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでの研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■授業のポイント 文献検索、各種実験・測定を通して、運動生理・生化学における研究手法を学習します。										
総合到達目標	■スポーツ科学分野における諸問題を把握し、その問題に対する探求力や分析する能力を修得するために、運動生理・生化学における研究の進め方について理解する。また、スポーツ科学分野の新たな可能性を探究する能力を養うために、研究計画の立案やゼミナール内での議論を通して研究に対する興味を深め、積極的に向き合う姿勢を身につける。 ・スポーツ科学分野における運動生理・生化学に関する研究の位置づけについて説明することができる。（1、2回目） ・自身の興味・関心に基づき文献を収集し、目的に応じた研究手法を選択することができる。（3～11回目） ・研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表準備をすることができる。（6～11回目） ・自身およびグループの研究計画の発表を通して、他者と討議することができる。（12～14回目） ・研究計画を整理し、研究課題の探求に努めることができる。（15回目）										
成績評価方法	■リアクションペーパー（40%）：適用ループリック G1・J2 （評価の観点）授業内で配布する資料への記入状況によって評価します。 （フィードバックの方法）授業後に回収し、次回授業時に解説をします。 ■プレゼンテーション（60%）：適用ループリック F1・I2・I3・J2・M1 （評価の観点）自身もしくはグループの研究計画を発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各自の発表後に講評を行います。										
履修条件	スポーツ生理学の基礎（SSCS2309）およびスポーツ生化学（SSCS2319）を履修していること。										
履修上の注意点	自身の興味関心に基づいた課題解決に向けて、自ら考え、行動する積極的な受講態度が求められます。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や成績評価について説明し、授業に対する準備を行う（G1）。 ③予習（120分） シラバスの内容を読み、授業の流れを把握しておく。 ④復習（120分） 再度シラバスをよく読み、次週以降の授業の流れを確認しておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 運動生理・生化学の研究とは ②授業概要 研究の意義や領域について確認し、運動生理・生化学の研究における分類について説明することができる（F1, G1）。 ③予習（120分） コーチング学研究法演習における研究の概要に関する授業資料を再度確認しておく。 ④復習（120分） 授業で得た知識を整理し、自身の課題としたい研究テーマについて考察しておく。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 興味のある先行研究を検索し、その文献から研究の手法や結果について論議および情報を整理し、説明することができる（F1, I3）。 ③予習（60分） 興味のあるキーワードや研究方法をいくつか挙げてくる。 ④復習（180分） 検索した文献を確認し、文献から得られた研究の手法や結果について、自身の研究課題に対する研究方法として適しているかどうかを検討しておく。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 文献研究② ②授業概要 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や成績評価について説明し、授業に対する準備を行う（G1）。 ③予習（120分） シラバスの内容を読み、授業の流れを把握しておく。 ④復習（120分） 再度シラバスをよく読み、次週以降の授業の流れを確認しておく。	2	①授業テーマ 運動生理・生化学の研究とは ②授業概要 研究の意義や領域について確認し、運動生理・生化学の研究における分類について説明することができる（F1, G1）。 ③予習（120分） コーチング学研究法演習における研究の概要に関する授業資料を再度確認しておく。 ④復習（120分） 授業で得た知識を整理し、自身の課題としたい研究テーマについて考察しておく。	3	①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 興味のある先行研究を検索し、その文献から研究の手法や結果について論議および情報を整理し、説明することができる（F1, I3）。 ③予習（60分） 興味のあるキーワードや研究方法をいくつか挙げてくる。 ④復習（180分） 検索した文献を確認し、文献から得られた研究の手法や結果について、自身の研究課題に対する研究方法として適しているかどうかを検討しておく。	4	①授業テーマ 文献研究② ②授業概要
回	内容										
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や成績評価について説明し、授業に対する準備を行う（G1）。 ③予習（120分） シラバスの内容を読み、授業の流れを把握しておく。 ④復習（120分） 再度シラバスをよく読み、次週以降の授業の流れを確認しておく。										
2	①授業テーマ 運動生理・生化学の研究とは ②授業概要 研究の意義や領域について確認し、運動生理・生化学の研究における分類について説明することができる（F1, G1）。 ③予習（120分） コーチング学研究法演習における研究の概要に関する授業資料を再度確認しておく。 ④復習（120分） 授業で得た知識を整理し、自身の課題としたい研究テーマについて考察しておく。										
3	①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 興味のある先行研究を検索し、その文献から研究の手法や結果について論議および情報を整理し、説明することができる（F1, I3）。 ③予習（60分） 興味のあるキーワードや研究方法をいくつか挙げてくる。 ④復習（180分） 検索した文献を確認し、文献から得られた研究の手法や結果について、自身の研究課題に対する研究方法として適しているかどうかを検討しておく。										
4	①授業テーマ 文献研究② ②授業概要										

	興味のある先行研究を検索し、その文献から研究の手法や結果について論議および情報を整理し、説明することができる（F 1, I 3）。 ③予習（60分） 興味のあるキーワードや研究方法をいくつか挙げてくる。 ④復習（180分） 検索した文献を確認し、文献から得られた研究の手法や結果について、自身の研究課題に対する研究方法として適しているかどうかを検討しておく。
5	①授業テーマ 文献研究③ ②授業概要 興味のある先行研究を検索し、その文献から研究の手法や結果について論議および情報を整理し、説明することができる（F 1, G 1）。 ③予習（60分） 興味のあるキーワードや研究方法をいくつか挙げてくる。 ④復習（180分） 検索した文献を確認し、文献から得られた研究の手法や結果について自身の研究課題に対する研究方法として適しているかどうかを検討しておく。
6	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備① ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする（I 2, I 3）。 ③予習（120分） これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておく。 ④復習（120分） 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておく。
7	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備② ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする（I 2, I 3）。 ③予習（120分） これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておく。 ④復習（120分） 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておく。
8	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備③ ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする（I 2・I 3）。 ③予習（120分） これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておく。 ④復習（120分） 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておく。
9	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備④ ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする（I 2, I 3）。 ③予習（120分） これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておく。 ④復習（120分） 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておく。
10	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備⑤ ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする（I 2, I 3）。 ③予習（120分） これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておく。 ④復習（120分） 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておく。

	11	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備⑥ ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする（I 2, I 3）。 ③予習（120分） これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておく。 ④復習（120分） 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておく。
	12	①授業テーマ 研究課題および研究計画の発表① ②授業概要 自身の研究課題および研究計画について発表を行う（F 1, G 1）。 ③予習（120分） 文献の収集や議論から得られた知識を整理し、発表の準備を行っておく。 ④復習（120分） 自身の研究課題に対する研究計画について再度整理しておく。
	13	①授業テーマ 研究課題および研究計画の発表② ②授業概要 自身の研究課題および研究計画について発表を行う（F 1, G 1）。 ③予習（120分） 文献の収集や議論から得られた知識を整理し、発表の準備を行っておく。 ④復習（120分） 自身の研究課題に対する研究計画について再度整理しておく。
	14	①授業テーマ 研究課題および研究計画の発表③ ②授業概要 自身の研究課題および研究計画について発表を行う（F 1, G 1）。 ③予習（120分） 文献の収集や議論から得られた知識を整理し、発表の準備を行っておく。 ④復習（120分） 自身の研究課題に対する研究計画について再度整理しておく。
	15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 これまでの授業内容を振り返り、自身の研究計画の問題点の抽出や整理を行う（I 3, J 2, M 1）。 ③予習（120分） 自身の研究課題の問題点や改善点について検討しておく。 ④復習（120分） 文献を整理し、研究計画の修正等を行っておく。
関連科目	コーチング学研究法演習（SSCS2317）	
教科書	ありません。	
参考書・参考URL	「パワーズ運動生理学—体力と競技力向上のための理論と応用—」 Scott K.Powers, Edward T.Howley著. 日本語版監修：内藤久士, 柳谷登志雄, 小林裕幸, 高澤祐治	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。	
研究比率		

